

朝鮮總督府及其所屬官吏職責特別任用關之件

明治四十五年三月二十五日決議

勅令第 號

本令施行ノ際現ニ其ノ職ニ在ル者ハ本  
令施行ノ際ニ限リ朝鮮總督府事務官ハ  
朝鮮總督府道事務官又ハ朝鮮總督府府  
尹ニ朝鮮總督府取調局事務官又ハ朝鮮  
總督府印刷局事務官ハ朝鮮總督府事務  
官ニ朝鮮總督府稅關港務官ハ朝鮮總督

府港務官ニ朝鮮總督府道事務官朝鮮總督府府尹又ハ朝鮮總督府府事務官ハ朝鮮總督府府尹又ハ朝鮮總督府道事務官ニ文官高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

朝鮮總督府屬朝鮮總督府取調局屬朝鮮總督府印刷局書記朝鮮總督府專賣局書

記朝鮮總督府稅關書記若ハ港吏朝鮮總督府勸業模範場書記朝鮮總督府工業傳習所書記又ハ朝鮮總督府通信書記ノ職ニ在ル者ハ本令施行ノ際ニ限リ文官普通試驗委員ノ銓衡ヲ經テ朝鮮總督府又ハ其ノ所屬官署ノ屬書記遞信書記又ハ港吏ニ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

附則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ

施行ス

参照

朝鮮總督府地方官官制中改正

勅令案

勅令第 號

朝鮮總督府地方官官制中在

通改正

第三條 各道ヲ通シテ事務官ハ

專任三十九人、書記及通譯生

八專任三百九十四人トス

技師、通譯官及技手ハ道ノ須  
要ニ依リ俸給豫算定額内

ニ於テ之ヲ置ク

第五條中「地方警察、警察事務」ヲ

「地方ノ警察、保健及衛生ノ事務」

改正

第十八條第二項及第三項ヲ削ル

第十九條各府郡ヲ通シテ書記及

通譯生ハ專任二千二十六人トス

第二十條各府郡ニ於テハ書記及

通譯生ノ定員ハ朝鮮總督之

身定ム

第二十一條第二項及第三項ヲ削リ同

條ニ左ノ一項ヲ加フ

府尹又ハ郡守事故凡トキハ上席

府書記又ハ郡書記其ノ職務

ヲ代理ス

第二十六條第四項中「二十八人」ヲ「五

十九人」ト「四十一人」ヲ「五十一人」ト

改ム

附則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ

之ヲ施行ス



朝鮮總督府官制中改正

勅令案

勅令第 號

朝鮮總督府官制中左ノ通改正ス

第九條 總督府ニ官房及左ノ四部ヲ置ク

内務部

度支部

農商工部

司法部

第十條 官房、總務局、外事局及土木局、内務部、地方局及學務局、度支部、司稅局及司計局、農商工部、農林局及殖産局、  
置、

官房、各部及各局、事務、令掌、總督之  
ヲ定ム

第十一條 總督府ニ在リ、職員ヲ置ク

長官 一人 勅任

局長 九人 勅任又ハ奏任

参事官 專任三人 奏任内一人、勅任  
局員トシテ、  
得

秘書官

專任二人

兼任

書記官

專任十九人

兼任

事務官

專任十九人

兼任

視學官

專任一人

兼任

編修官

專任一人

兼任

技師

專任二十八人

兼任

内二人、  
為スコト、  
侍

通譯官

專任五人

兼任

属

視學

編修書記

技師

通譯生

專任三百八十七人、  
兼任

第十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

参事官ハ朝鮮ニ於テル制度及風俗ノ調査  
ヲ掌ル

第二十條ノ二 内務部ニ觀測所ヲ置キ氣

象及曆ニ関スル事務ヲ掌ラシム

觀測所ニ所屬測候所ヲ置クコトヲ得

第二十條ノ三 觀測所長ハ朝鮮總督府技

師、測候所長ハ朝鮮總督府技師ヲ以テ之

ニ充ツ

第二十條ノ四 觀測所及測候所ノ名称及

位置ハ總督之ヲ定ム

「第二十一條」  
「第二十四條」ニ改ム

附刊

本令八明治四十七年四月一日施行

行

四

朝鮮總督府警察官署官制中改正案

勅令案

勅令第 號

朝鮮總督府警察官署官制中左、通改正ス

第一條及第三條中「警察事務」ヲ「警察及衛生」

事務ニ改ム

第四條第一項中「警察事務」及「警察及衛生」事

務並ニ同條第二項中「警察事務」ヲ「警察事務」



及衛生事務ニ改ム

第五條中「四十四人」ヲ「三十六人」ハ人「七人」一人

ヲ「三人」ニ改ム「技師」ハ次ニ「港務官專任一人奏任」

「港務醫官專任一人奏任」及「獸醫官專任一人奏任」

ヲ加ハ「警察醫官專任百五人奏任又ハ判任」ヲ削リ「警

部」ハ次ニ「港吏」ハ「港務醫官補」及「獸醫官補」ヲ加

ハ「三百五十七人」ヲ「三百七十人」ニ改ム

第八條中「地方警察事務」ヲ「地方ノ警察及衛生

ノ事務」ニ改ム

第十一條中「警察事務」ヲ「警察及衛生ノ事務」ニ

改ム

第十三條ノ二「港務官」ハ上官ノ余ヲ承ケ「開港港

則ノ執行及海港檢疫ニ関スル事務ヲ掌ル

第十三條ノ三 港務醫官ハ上官ノ命ヲ承ケ海

港檢疫及醫務ヲ分掌ス

第十三條ノ四 獸醫官ハ上官ノ命ヲ承ケ獸畜ニ

関スル檢疫、検査及醫務ヲ掌ル

第十五條第二項中「警察事務」ヲ「警察及衛生」

事務ニ改メ同項ノ次ニ左ノ三項ヲ加フ

港吏ハ上官ノ指揮ヲ承ケ関港港則ノ執行及

海港檢疫ニ従事ス

港務醫官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ海港檢疫及

醫務ニ従事ス

獸醫官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ獸畜ニ関スル

検査、検査及醫務ニ従事ス

附則

本令、明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府遞信官署官制

勅令第 号 勅令第 号

朝鮮總督府通信官署官制

第一條 朝鮮總督府通信官署ハ朝鮮總督ノ管

理ニ屬シ郵便・郵便爲替・郵便貯金・電信・電

話・航路標識及發電水力ニ關スル事務並

航路・船舶・海員及電氣事業ノ監督ニ關ス

ル事務ヲ掌ル

朝鮮總督ノ指定シタル逓信官署ハ朝鮮總督

府及其ノ所屬官署ノ取扱フ歳入金歳出金及歳入

歳出外現金ノ出納ニ関スル事務ヲ掌ル

第二條 逓信官署ハ逓信局、郵便為替貯金管理

所、郵便局及郵便所トス

第三條 逓信局ハ郵便、郵便為替、郵便貯金

電信、電話、航路標識及發電水力ニ関スル事務

ヲ管理シ航路、船舶、海員及電気事業ノ監

督ニ関スル事務ヲ掌ル

第四條 郵便為替貯金管理所ハ郵便為替貯金

ノ検査計算ニ関スル事務ヲ掌ル

第五條 郵便局及郵便所ハ郵便、郵便為替及

郵便貯金ノ事務ヲ掌ル

電信又ハ電話事務ハ郵便局又ハ郵便所ヲシテ  
之ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六條 朝鮮總督ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定  
メテ通信局ノ管掌事務ヲ分掌セシムルコトヲ  
得

第七條 朝鮮總督ハ必要ナル地ニ郵便、郵便為  
替、郵便貯金、電信又ハ電話ノ取扱所ヲ置キ航  
路標識其、他海事ニ關スル事務ヲ分掌セシムル  
為通信局出張所ヲ置クコトヲ得

第八條 郵便局及郵便所ノ名称及位置並航路標  
識ノ種別、名称及位置ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第九條 通信官署ニ左ノ職員ヲ置ク

通信局長官

勅任

通信局書記官

專任三人

奏任

通信事務官

專任十人

奏任

通信事務官補

專任十人

奏任

通信技師

專任九人

奏

任

内一人ヲ勅任ト爲  
スコトヲ得

通信書記

通信技手

通信書記補

航路標識看守

專任七百八十四人 判任

郵便所長

判任

第十條 通信局長官ハ朝鮮總督ノ監督ヲ承



ケ局務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ監督ス

第十一條 逓信局書記官ハ長官ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌ル

第十二條 逓信事務官及逓信事務官補ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十三條 逓信技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十四條 逓信書記、逓信技手、逓信書記補及航路標識看守ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務、技術及航路標識、看守ニ従事ス

第十五條 郵便為替貯金管理所長ハ逓信事務官ヲ以テ之ニ充ツ逓信局長官ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ監督ス

第十六條 郵便局長ハ通信事務官、通信事務官

補又ハ通信書記ヲ以テ之ニ充ツ通信局長官ノ命

ヲ承ケ局務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ監督ス

第十七條 郵便所長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ所務ヲ掌

ル

第十八條 發電水力調査ニ関スル事務ニ従事セシ

ムル為通信局ニ臨時左ノ職員ヲ増置ス

通信技師 二人

通信書記 二人

通信技手 四人

附 則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府通信官署官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ朝鮮總督府通信局長官、通信  
局書記官、通信事務官、通信事務官補、通信技  
師、通信書記、通信技手、通信書記補又ハ郵便所  
長ノ職ニ在ル者ハ別ニ特令ヲ用ヰス朝鮮總督府  
通信局長官、通信局書記官、通信事務官、通信

事務官補、通信技師、通信書記、通信技手、通  
信書記補又ハ郵便所長ニ各同官等俸給ヲ以テ  
任セラルレタルモノトス

明治四十三年勅令第三百九十六號中改正件

明治四十五年三月二十五日決議